

旭区徘徊 SOS ネットワークシステムにおける個人情報の所在不明について

1 概要

「旭区徘徊 SOS ネットワークシステム(※)」における徘徊の可能性がある認知症高齢者について、25 件分の登録票が、協力機関である旭区内の 2 箇所の地域ケアプラザ及び旭区社会福祉協議会において所在不明であることが判明しました。各協力機関が探していますが、現在のところ発見されていません。

※「旭区徘徊 SOS ネットワークシステム」について(平成 11 年事業開始)

徘徊のために行方が分からなくなる可能性のある認知症高齢者の個人情報や緊急連絡先等を記載した登録票を、予めご家族等にご提出いただき、実際に行方不明になった際には、警察や旭区内の地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会、旭区が登録票の情報を活用し、鉄道、バス、タクシー会社等の協力を得て、速やかな発見に役立てる仕組みです。

登録票は、旭区内 12 か所の地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会、旭警察、旭区で 1 部ずつ鍵のかかる書庫で管理しており、新規登録について随時更新しているほか、年に 1 回、旭区が作成する登録者の全件リストにより、登録票の確認及び登録の削除を行っています。

なお、平成 29 年 3 月 31 日現在で 155 件の登録がされています。

2 登録票記載の個人情報(別添登録票参照)

【登録者】氏名、旧姓、生年月日、住所、性別、顔写真、身体特徴(身長、体重等)

【申請者、緊急連絡先】氏名、住所、電話番号、登録者との続柄

3 登録票が所在不明となった協力機関と件数

合計 3機関、25件(個人情報 74 人分:登録対象者25人、申請者、緊急連絡先49人)

協力機関名	運営法人	所在不明の登録票数 (個人情報人数)
横浜市左近山 地域ケアプラザ	社会福祉法人 幸済会 保土ヶ谷区川島町1514-2 理事長 三村圭美	21件(63人)
横浜市鶴ヶ峰 地域ケアプラザ	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 神奈川区大野町1-25 理事長 谷内徹	1件(3人)
横浜市 旭区社会福祉協議会	社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会 旭区鶴ヶ峰 1-6-35 会長 池田宏史	3件(8人)

4 経過

- 4月27日(木) 左近山地域ケアプラザから旭区に、「最新リストに基づき全件確認を行ったところ、登録票の一部が所在不明であることが判明した」との連絡あり。
- 4月28日(金) 旭区から登録票を管理する全協力機関に対して、全件確認を依頼。
- 5月1日(月) 左近山地域ケアプラザ、鶴ヶ峰地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会において、登録票の一部が所在不明であることを確認。
謝罪のため、申請者等を順次訪問。

5 発生原因

登録票は、原則として各地域ケアプラザで受付し、各協力機関分のコピー及び原本を旭区に送付します。旭区は、これを各地域ケアプラザ、旭区社会福祉協議会、旭警察に送付しています。

今回の事案は、一部の協力機関において受領した登録票の管理が徹底されておらず、誤って廃棄した可能性が考えられます。

6 今後の対応

- (1) 引き続き、所在不明の登録票の対象者及びご家族等に対して、訪問等により謝罪していきます。
- (2) 各協力機関に対して、当該事業における情報管理について改めて周知し、適切な取扱いを徹底します。
- (3) 定期的なチェックや管理方法等について再検討し、再発防止に努めます。

お問合わせ先
旭区高齢・障害支援課長 新井 隆哲 TEL045-954-6198